

感染対策便り(院外版) Vol.3

平素より当院の感染対策にご理解・ご協力いただきありがとうございます。今回はHPVワクチンのキャッチアップ期間延長についてのお知らせになります。この度、以下の赤枠の条件を満たした対象者に対し、公費対象となる期間が延長されることが厚生労働省にて決定しました。当院でも以下の通り、HPVワクチン接種を実施しています。

子宮頸がんには、予防する方法があります。

10代からのHPVワクチン接種と、20歳を過ぎたら加えて検診が大切です。*

いつかじゃなく、
「今」だ。

当院婦人科にてHPVワクチン接種を実施しています。

当院で実施できるのは太枠の対象の方のみになります。ご予約は外来予約センター、又は検査予約窓口へお問い合わせください。注)当院では男性の方の接種は対象外となります。

対象	費用	備考
小学校6年～ 中学3年生相当 の女性の方	当院対象外	接種をご検討される方はお住いの各市町村のホームページから実施可能施設をご確認ください。
1997年4月2日～ 2009年3月31日 生まれの女性の方	公費 (座間市のみ)	令和7年3月末までに接種を開始した方が、全3回の接種を公費で完了できるようになりました。 ○対象者：キャッチアップ接種対象者のうち、令和4年4月1日～令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方 平成20年度生まれの女子で、令和4年4月1日～令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方 ※過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない女性 ○期間：キャッチアップ接種期間（令和7年3月31日まで）終了後、1年間
1997年4月1日以前に お生まれの女性の方	自費	当院婦人科にて接種可能です。詳細は窓口にお問い合わせください。

子宮頸がんとは、おもにHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因の疾患です。

罹患者数<毎年
約10,000人



死亡者数:年間
約3,000人



20～30代でも罹患



10代
から

HPVワクチン

2回、または3回接種で完了*

20歳
を過ぎたら

定期的な検診

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ(2014年～2019年)/全国がん死亡データ(1958年～2022年)

*1: HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。 *2: 接種時の年齢や、HPVワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種が必要です。

ポスター提供元



詳しくは、お医者さんにご相談ください。

子宮頸がん予防

